

はじめに

子どもは、家庭で家族と関わりながら、基本的な生活習慣を身に付け、生きる力や豊かな人間性をはぐくんでいきます。そして、大人が子どもに愛情深く関わっていくことで、子どもは自分自身を大切に思う気持ち(=自己肯定感※注)を高め、学習や運動等に自信を持ってチャレンジし、心身ともに健やかにたくましく成長していくものです。

『平成22年度全国学力・学習状況調査』の結果によると、福島県の子どもたちは、「将来について夢や目標を持っている」、「あいさつをする」、「地域での行事へ参加する」こと等について、全国平均と比較して割合が高いことがわかりました。一方で、テレビやDVDの視聴時間、テレビゲーム等に費やす時間が長いこと等の生活習慣に問題があり、「自分にはよいところがあると思う」割合が少ないという自己肯定感の低さ等も課題であることがわかりました。

子育ては、不安や悩み、心配の連続です。自分の思いどおりにいかないことも多いものです。大人も、そして子どもも、悩んでいるときに、人として成長している時です。

この『家庭教育サポートブック』は、家庭において、望ましい生活習慣の確立・定着に向けた内容等を示し、保護者の皆様に子育ての参考として活用していただくために作成いたしました。

子どもたちの幸せな未来を創るためにお役立てください。

※注)自己肯定感・・・自分を大切に思う心、自分を肯定的に捉え、自分が大切な存在であるとする自己認識